

あらかわ 大好き NEWS

涼しい秋までもう少し、いかがお過ごしでしょうか？
9月といえば防災月間。3.11を受けて荒川区の防災計画
もしっかりと見直して参ります。
区議会では第3定例会が開催です。あけど 荒川区議会議員
ぜひ傍聴にお越しください。

あけど 荒川区議会議員
明戸まゆみ



討議資料

平成23年度第3定例会が開催されました！

第3定例会が9月12日（月）～10月12日（水）までの会期で開催されました。一般質問には始まり、今回の議案は、石浜ふれあい館の建築工事、ふれあい館や特養、福祉施設の指定管理者の指定等です。また、一般会計補正予算（第2回）は、木造・非木造建築の耐震化（7,189万円）、峡田小学校の運動場の整備（635万円）の予算が組まれています。また、陳情、意見書等の審議もあります。9月の議会は平成22年度の決算特別委員会が開催されます。議論の材料として平成22年度「決算書」「決算説明書」「財務報告書」「行政評価結果」「成果説明書」等の資料も出ました。予算委員会の1日目には総括質問があります。私も片道20分の質問をさせていただきました。

自民党区議団、平成24年度予算要望提出！

6月のヒアリング等からまとめました来年度の予算要望書を、幹事長、政調会で9月8日正午に区長室へ届けました。61テーマ、249項目にのぼります。自民党荒川区議団としての平成24年度への要望の重点項目としては、①地域防災計画や防災訓練の見直し、②放射線に対する適切な情報の提供、③荒川2丁目の文化・子育て複合施設の建設推進、④南千住のリサイクルセンターの早期建設、⑤若者の就労支援策の一層の充実を掲げました。



「放射線量の測定に関する緊急要望書」提出！

国が10月21日に「当面の福島県以外の地域における周辺より放射線量の高い個所への対応方針」を発表したのを受け、自民党荒川区議団では、翌22日「放射線量の測定に関する緊急要望書」を区に対して提出しました。①専門家による測定、②小中学校・幼稚園・保育園の測定、③わかりやすい情報提供、④測定・除染費用の国庫負担。以下は8月に測定された首都大学東京の福士教授による区内放射線測定値です。いずれの箇所も正常値内でした。

区内放射線量測定結果	測定場所	空間線量率 (μSv/h)			備考
		地上 1m	地上 50cm	地上約 5cm	
	首都大学東京荒川キャンパス（東尾久7）	0.16	0.17	0.18	砂地 グラウンド中央
	生涯学習センター（荒川3）	0.12	0.13	0.14	砂地 グラウンド中央
	町屋三丁目児童遊園（町屋3）	0.13	0.15	0.18	公園中央の木の下の
	あらかわ遊園運動場（西尾久8）	0.11	0.12	0.13	砂地 グラウンド中央
	日暮里南公園（東日暮里5）	0.11	0.12	0.14	砂地 広場中央
	汐入公園（南千住8）	0.14	0.15	0.15	砂地 プレイグラウンド中央

*平成23年8月23日（曇り）測定。

*詳しくは <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/bosaibohan/touhokujisinkeika/housyasen/i004004004201108181.html>

荒川の明るい未来の戸をあける 自民党に新しい風を！

発行 荒川区東尾久 4-51-16-201 電話：080-6505-8823 FAX：03-6327-6308

E-mail: akedo@akedo.jp HP: <http://www.akedo.jp/>

ブログ日記: <http://akedoma.blog77.fc2.com/> (毎日更新！)

ご意見・
お問合せも

あけど 荒川区議会議員
明戸まゆみ



荒川区政点検！

こんなに住みやすい荒川区⑦

今回は9月なので防災について。防災の荒川区に対する最近の評価は高い（「週刊ダイヤモンド」の特集『防災ランキング』で全国122自治体中、都内の4区と共に同率第1位、「日経グローバル」の特集『自治体の災害対応力』で全国289市区中、渋谷区、北九州市に次ぐ第3位に上がりました！）ですが、建物倒壊・火災・避難路での判定では、総合危険度ランク4・5のついている地域が全体の61%（4が36%、5が25%）あり、**木造密集地域を解消し、発災時には初期消火を徹底しなければなりません。**そして、人命救助・初期消火等を行う住民の防災力でまちを守っていかねばなりません。何よりも**人命を救うことが大優先**です。新潟の方がかつて言っていました。人命さえ失わなければ、復興は速いと。荒川区の防災強化策を活用して、災害に強いまちにしましょう！

●耐震補強補助制度（昭和51年以前の建物）住環境整備課

耐震診断は無料、設計・建設・建替えは木造・コンクリート、戸建て・集合住宅で補助率と限度額は違いますが、**23区内ではトップレベルの補助**を行っています。**70才以上の世帯**はさらに補助が多くなりました。ぜひご利用下さい。

防災課・障害者福祉課・区民事務所

●家具の転倒・落下防止（65才～、障）

家具の転倒・落下防止のための器具取り付け工事にかかる費用を**1万円まで助成**します。申請をすると**L型金具、扉開放防止器具、ガラス飛散防止フィルム**の取り付け業者を紹介してくれます。郵送申請も可。

【荒川区の防災：強い点！】

- ・避難所になる学校等の耐震補強が完了している。
- ・消防団・民生委員・町会組織がしっかりしている。
- ・自主防災組織のカバー率が100%。**みなさまから荒川区にお寄せ頂いた義援金のべ1億1274万5332円** ありがとうございました *9/1現在
- ・財政力が健全。・病院の施設が充足。

【荒川区の防災：弱い点！】

- ・木造密集地域が多い。

【荒川区の備え】

- ・緊急物資の備蓄。
- ・企業・自治体との防災協定。
- ・給水車配備、防災井戸の指定。
- ・路上消火器の配備。
- ・D級消火ポンプ、リレー用バケツの配備。 (2011.9.4 西尾久)
- ・全国瞬時警報システムの導入。



【防災計画の見直し】*今年度意見を聞き、来年度見直し修正の予定

- ・災害対策本部の組織 ・初動体制 ・情報収集・伝達
- ・通信手段 ・帰宅困難者対策 ・避難所運営
- ・応援の受け入れ体制 ・実践的な防災訓練 ・他機関との連携
- ・建物の耐震化・不燃化の強化
- ・医療救護・緊急輸送・救援物資の受け入れ体制の強化

作家・吉村昭と三陸津波

日暮里出身の作家・吉村昭氏の著書に『三陸大津波』があります。明治から昭和にかけて3たび東北を襲った大津波の現地調査を重ね多くの証言を載せたルポタージュです。東日本大震災後、再び脚光をあびています。各区内図書館では、吉村昭の4種類のしおりを配布しています。

荒川区いろいろ募集！

- 荒川コミュニティカレッジの第2期生（10月開講）
- 荒川の職人見習い募集（木版画摺、額縁）
- 「あらかわの心」おせっかい体験談を募集 「電気の使用量のお知らせ」を持ってエコセンターへGo
- 節電マイレージコンテスト（9月・10月）
- 都電荒川線100周年記念絵画コンテスト（-10/31）
- 「貸切都電で行く～荒川区観光ツアー」参加者募集
- ◆11/26（土）・27（日）各日20名（小学生以上・抽選）（-10/31）

65才以上の肺炎球菌ワクチン接種が今年から割引になります。予診票は、インフルエンザのものと一緒に送られてきます。

自由民主党青年部で福島視察に行きました(2011.8.21-22)



荒川区内いろいろ秋のイベント！

- あらかわハロウィン2011（パレードとお菓子） 詳細HP
パレード◆10/29（土）13時◆あらかわ遊園前集合
- 都電荒川線花電車運行（100周年記念・33年ぶり！）
◆10/1・10・16・23・30（1日2回運行）*14-20時の間
- 宮城県女川町の絵はがきと物産展（梅干し）
◆11/5（土）◆南千住スポーツセンター（福祉まつり開催中）
- OGU MAG（ものづくり・職人の町展示スペース）
◆10/13-16 チェンマイ写真と器 →http://www.ogumag.com/
◆11/1-6 「distortion 歪」（東城信之介 作品展）
◆11/8-13 河原真佐子写真展「午下り」
- 荒川区文化祭（詳しくは区ホームページにて）
◆9/3-11/20 ◆区内施設（町屋文化センター・サンパール等）



10月1日都電荒川線の日、大観衆が見守る中、初めての運行へ出発進行！（写真：荒川区HPより2011.10.1）

荒川の明るい未来の戸をあける

問合せは明戸まで！

昭和45年、青森県十和田市生まれ。41歳。
岩手大学卒、東京大学大学院修了、國學院大学大学院博士課程。
NPO地域交流センター研究員を経て平成20年11月区議初当選。

荒川区議会議員
あけと
明戸まゆみ

